

# 古城地区雪かき応援ボランティア活動 (前沢古城地区)

古城振興会で組織的に取り組んでいる除雪支援です。平成17年頃から行われていた除雪活動を、誰もが参加しやすい仕組みにするために平成27年度に見直し、古城振興会福祉環境部会の事業として全行政区で支援体制を整えて活動しています。

## 基本情報

<b>代表者</b>	小野寺 孝喜 古城振興会長	
<b>事務局</b>	亀井 涼一 福祉環境部会長 相原 美奈子 地域活動員	
<b>活動内容</b>	除雪支援・見守り（除雪に必要な用具・機械は各自準備）	
<b>活動エリア</b>	古城地区全域	
<b>活動日時</b>	10cm以上の降雪時に除雪出動／朝6:00～7:00（ボランティアの都合にあわせて）	
<b>支援対象者</b>	<b>対象者</b>	高齢者世帯・身体障がい者世帯等雪かき応援を希望する世帯で、古城振興会が必要と認める世帯
	<b>対象者数</b>	28世帯（令和2年度実績）
	<b>把握方法</b>	民生児童委員が対象世帯を選定し、地域セーフティネット会議で行政区ごとに選考する
<b>支援者</b>	<b>支援者</b>	行政区長・民生児童委員・班長・地域ボランティア（20歳以上の地区内在住者）など
	<b>支援者数</b>	38名（令和2年度実績）
	<b>確保方法</b>	地域セーフティネット会議で候補者を選考 福祉環境部会長が参加してくれそうな人に直接声掛け
<b>会費・利用料</b>	無し	
<b>支援者への謝礼等</b>	除雪機械使用：3,000円＋マスクセット 手作業：高級箱ティッシュセット＋マスクセット	
<b>財源</b>	古城振興会費・歳末たすけあい助成（奥州市社会福祉協議会）	
<b>保険</b>	市民活動総合補償制度	



デイサービスの送迎に間に合うように



門口まで長いお宅も手作業で



ゴミステーション前



国道4同線沿いをトラクターで

## 事業手順

時期	内容
7月～10月	各行政区の地域セーフティネット会議で対象世帯及びボランティア候補者を選考
11月	民生児童委員が対象世帯とボランティア候補者の名簿を作成し古城振興会事務局（地区センター）に提出
11月下旬	「雪かき応援ボランティア打合せ会」開催
12月初旬	対象世帯にボランティアによる雪かき応援活動について文書でお知らせ
12月～3月	雪かき応援ボランティア活動
3月中旬	「雪かき応援ボランティアふり返りの会」を開催
3月下旬	ボランティアへの礼状・謝礼の贈呈／発言集・アンケート結果の取りまとめ

### 活動の特徴

- ① 「雪かき応援ボランティア活動」に登録せずに除雪支援している人もいる。個人の除雪箇所を把握し、組織と個人が協力・分担するという古城方式が定着した（組織ボランティア 38 名・個人ボランティア 13 人位）
- ② 雪かきに合わせ、対話による見守りをおこない、生活用品で不足するものがないかなどの間取りも
- ③ ふり返りの会を実施し、ボランティア登録者の声を次年度の活動改善に取り入れている
- ④ 活動に際し「よくある質問」については Q&A を作成し対応
- ⑤ 降雪の少なくなった 2 月以降はゴミ拾いなど雪かき以外のボランティア活動をする人が見られた

### 支援者の声

- ・ ボランティアをして充実感を得た。とにかく行動することが重要だ
- ・ 手作業困難なため、個人で除雪機を購入して活動した
- ・ 除雪してやりたい世帯は担当世帯以外にも多くあったが、全世帯には対応できない。できる限り活動は今後とも続けたい
- ・ 大変感謝された。今後も継続して行うべき！体力の続く限り協力したい！
- ・ 仕事もあり機械作業にした。デイサービス送迎車進入路確保の対応に苦慮した
- ・ 対象世帯が遠く、除雪機を配置する必要がある
- ・ 今冬（R2 年度）は積雪が半端ではなく、仕事との両立が困難であった
- ・ 集落に高齢者世帯が多く、ボランティアでは対応困難。除雪機でも大変

### 課題

- ・ ボランティア登録を輪番制や充て職にした行政区もあり、長年雪かきボランティア活動をして意気込んでいた人が参加できなかつたり、仕事をしているため活動できなかつたりしたことがあった